

# 思い思いの場所で自己発揮し のびのびと自分らしく成長する 異年齢保育

年上の子どもは、年下の友だちと一緒に過ごす事で、自然と思いやりや優しさが芽生えます。また、年上の自覚を持ち、チャレンジしたり、はりきる気持ちへ繋がります。年下の子どもはそんな姿を見て憧れ、自分たちもやってみたいと思う気持ちが育ち、自分より年下の友だちへ手を差し伸べるようになります。

異年齢の集団の中で過ごすことで、子どもたちは年齢や発達段階の異なる様々な個性を持つ人々と関わる経験を積み、自分の意見を伝えたり、相手の気持ちを理解したり、協力したり、譲り合ったりする中で、コミュニケーション能力や社会性が自然と育まれていきます。

発達段階に応じた学年ごとのカリキュラムは、主に年長・年中のクラスを対象に行っています。年少児は異年齢の時間を中心に、基本的な生活習慣の自立など一人ひとりのペースに合わせながら、自分でできる喜びを育みます。全学年、遊び：自由遊びを中心に、ごっこ遊び、積み木、粘土、砂遊びなど、自分のペースで探求できる環境を大切にします。

## 甲東幼稚園はどっちも！

同じ年齢の子どもたちと助け合ったり協力する中で、自分の得意なことや苦手なことに気づき、自己理解を深めます。成功体験を積み重ねることで、自信と自己肯定感を育み、自己肯定感を高めることで、新たな挑戦への意欲を高めます。学年活動を通して、協力することの大切さを学び、社会性を養います。

## 協力や助け合いを学べる 同年齢保育